

疑義照会事例報告

(平成29年10月～12月報告分)

分類	10月	11月	12月	合計
用法・用量	341	280	379	1000
禁忌	15	18	5	38
副作用	10	2	7	19
重複	60	46	46	152
相互作用	3	4	1	8
処方過不足	150	113	150	413
事務的事項	85	27	42	154
その他	109	150	138	397
合計	773	640	768	2181
変更率	79.0%	75.3%	81.1%	

疑義区分	処方内容（疑義部分）	疑義内容	照会結果	備考
用法用量	ブシ末 5g	添付文書上の明記はないが、 用量として正しいか確認	1日1gに変更	
	ユーエフティ配合カプセルT10 0毎食後	服用タイミングの確認	食後1時間空けるように指示	
	クラリスロマイシン錠50mg 1日9錠	35kg児。450mgでは、成人 量を超過する。	1日8錠(400mg)に変更	
	トレシーバ注フレックスタッチ 1日1回 寝る前 3単位	夜間の低血糖により、2単位に 減らしていたと申し出があり。	2単位に変更	
	テオドール錠200mg 1回2錠 苦しい時	徐放錠であり、即効性が期待で きないために確認	点滴により症状は落ち着いて おり、処方どおり。	
	プルスマリンAds3% 0.8g	16kg児。過量。1.5%製剤で はないか確認。	3%製剤のまま、1日0.5gに 変更	
禁 忌	シベンゾリンコハク酸塩錠	緑内障に禁忌	今までも服用しており、変更な し	
	レボフロキサシン錠500mg	14歳児。小児に禁忌	体重も考慮し、処方変更なし	※15歳未満禁忌 ※体重92kg
	プロトピック軟膏小児用	妊婦。禁忌となるため照会。	ロコイド軟膏へ変更	
	ボノサップ800	ベルソムラ錠服用中 併用禁忌	処方どおり。ボノサップ服用中 はベルソムラ休薬指示あり。	

疑義区分	処方内容（疑義部分）	疑義内容	照会結果	備考
副作用	ロキソプロフェンNa錠60mg	喘息あり。NSAIDsで発作誘発。カロナールは大丈夫。	カロナール錠500mgに変更	
	クラリシッド錠200mg	以前に発疹がでたことがある	ダラシнкаプセルに変更	
	ジクロフェナク錠25mg	以前、セレコックス錠で尿出血の副作用経験あり。	アセトアミノフェン錠に変更	
重 複	タガメット錠	ファモチジンOD錠服用中のため、H2ブロッカーが重複	タガメットは石灰化予防で使用するため併用する	
	バルサルタン錠80mg	レザルタス配合錠HD服用中	バルサルタン処方削除	
	ベニジピン塩酸塩錠4mg	定期でニフェジピンCR処方あり	ベニジピン錠削除、ニフェジピンCR錠を増量。	
	ビカルタミド錠80mg 初処方	他院より、ザルティア錠、プロスタール錠服用中。ザルティア錠は中止指示があったが、プロスタール錠は併用するか確認。	プロスタール錠の併用を見落としていた。プロスタール錠も中止。	
	ビソプロロール錠2.5mg 2錠 朝食後	内科でカルベジローラ錠2.5mg 2錠朝食後で服用中	カルベジローラ錠2.5mg2錠に変更し、内科の薬と合わせて服用する。	
相互作用	クラリスロマイシン錠	服用中のイグザレルト錠の血中濃度が上昇する	クラビット錠に変更	
その他	イニシンク配合錠 98日分	新薬のため14日までとなる	ネシーナ錠、メグルコ錠に分けて、それぞれ98日分に変更	
	イニシンク配合錠	糖尿病用薬の処方が初めての患者のため確認	処方どおり	
	コデインリン酸塩錠20mg	麻薬となり、急ぎで対応できず。	咳止めとしての使用であり、コデインリン酸塩錠5mgを1日4錠に変更	
	ネオキシテープ73.5mg 1回 0.5枚	半分に切ってよいかどうかの確認	マトリックス制御型構造のため、カットして使用可と判断	
	ビシフロール錠、コムタン錠、ネオドパストン錠、アトルバスタチン錠 すべて粉砕指示	簡易懸濁法の提案	簡易懸濁法で対応する	※施設入所者
	セスデンカプセル30mg	モサプリド錠5mg毎食前で服用中。薬効が拮抗するため確認。	モサプリド錠削除	
	ボナロンゼリー35mg	錠剤服用可能。薬価が高いこともあり、照会した。	錠剤に変更	※ゼリー1,151.7、錠剤591.4
	チモプトールXE点眼0.5%	喘息の傾向を指摘されたが、継続してよいか確認	チモプトールを休薬して様子を見る	
	サムスカ錠30mg	初回投与であり、登録医師の確認	確認済み	※卸経由で確認
	ビオフェルミンR錠	抗生物質処方なし	ビオフェルミン錠剤に変更	